

# 自然

ぐんまの



群馬が誇る豊かな自然。守ることはもちろん、再生させようという動きもあるよ。

## 首都圏を潤す群馬の自然

群馬県は、関東平野の北西部に位置し、平野部から山岳地帯まで変化に富んだ自然が特徴です。流域面積日本一の利根川の水源地があり、首都圏3,700万人の水がめともいわれています。県のシンボル「上毛三山」、自然保護運動の先駆け「尾瀬」など、豊かな自然は、誇るべき群馬のたからです。



## 自然保護の原点「尾瀬」

今ではよく見かけるようになった木道も、尾瀬から広まりました。



尾瀬は昭和9年に日光国立公園に指定され、平成19年には尾瀬国立公園として独立しました。また、特別天然記念物、ラムサール条約登録湿地でもあります。

かつてはダム開発や道路建設の計画もありましたが、尾瀬の自然を守ろうとする人たちにより計画は撤回されました。

また、昭和47年には全国で初めて「ごみ持ち帰り運動」が行われました。これらの尾瀬を守る活動がその後の自然保護運動の先駆けとなったことから、尾瀬は「自然保護運動の原点」といわれています。



## 国有林を協働管理「赤谷プロジェクト」

国有林の赤谷の森では、地域住民で組織する「赤谷プロジェクト地域協議会」、林野庁関東森林管理局、日本自然保護協会の3つの中核団体が協働して、生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進めています。国有林を協働で管理していこうとするこの取り組みは日本初のもです。

この「赤谷プロジェクト」では、猛禽類や植生等のモニタリング調査、人工林から自然林への復元、溪流環境の復元、環境教育活動などに取り組んでいます。



茂倉沢2号ダム



種子の話(環境教育)



双眼鏡でモニタリング体験(環境教育)

ぐんまがいちばん! クイズ①問題

群馬県には世界一の湖があります。さて、それはどこで何が世界一なのでしょう?

# 日本三大岩場の「谷川岳」

日本百名山に選ばれている谷川岳は、一の倉沢の衝立岩をはじめとした急峻な岩場があるため、剣岳(富山)、穂高岳(長野・岐阜)と並んで「日本三大岩場」とされています。



# 日本三大奇勝の「妙義山」

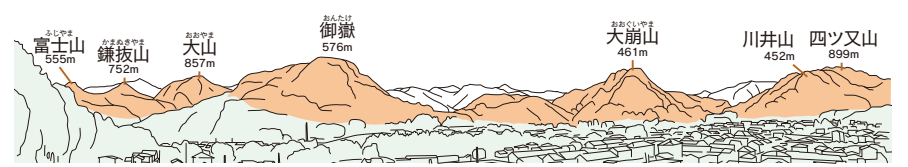


国の名勝で日本百景にも選ばれている妙義山は、耶麻溪(大分)、寒霞溪(香川)と並び、「日本三大奇勝」とされています。

また「日本近代登山の父」ウェストンが、妙義の山岳ガイド根本清蔵に登山技術を教えたことから、「近代登山発祥の地」ともいられています。下仁田ジオパークのジオサイトの一つでもあります。

## 山が移動してきた? 「下仁田ジオパーク」

ジオパークとは「大地の公園」ともいわれる自然公園のこと。下仁田町は、世界レベルの地質学的な資源がたくさんある地質の宝庫で、日本列島形成に関する多様な地殻変動の痕跡を見ることができます。代表的なジオサイトは「跡倉クリツベ」。クリツベとは根無し山のこと、別の場所から移動してきた地層が河川などで削られてできています。下図のオレンジ色で塗られた部分が移動してきた地層です。



# 坂東太郎・利根川



流土とは  
川に雨水が集まる  
範囲のことだよ。



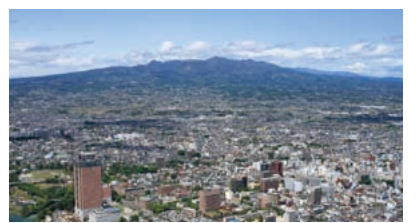
みなかみ町の大水上山を源流とする利根川は、群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・長野県・東京都を流域とし、その流域面積は約16,840km<sup>2</sup>で、日本一を誇ります。

## 群馬県民のふるさとの山「上毛三山」

赤城山・榛名山・妙義山の三つの山を総称して「上毛三山」といい、群馬県民のふるさとの山として親しまれています。県の紋章や県旗など群馬県のシンボルデザインに使われているほか、小・中・高校の校歌の歌詞にも多く登場します。

### ● 裾野の長さは富士山に次ぐ「赤城山」《標高1,828m》

富士山に次ぐ日本で2番目に長い裾野が特徴の赤城山。実は一つの山ではなく、最高峰である黒檜山をはじめ、駒ヶ岳・地藏岳・長七郎山・鍋割山などの総称です。



### ● パワースポット「榛名神社」を抱える「榛名山」《標高1,449m》

カルテラ湖の榛名湖と中央火口丘の榛名富士を囲むように掃部ヶ岳、烏帽子岳などの外輪山が取り囲む榛名山。中腹にある榛名神社は関東有数のパワースポットとしても知られています。



## 群馬県の運動会は赤組・白組じゃない!

県内の小学校では、運動会の組み分けを上毛三山にちなんで「赤城団」「榛名団」「妙義団」とする例が多くあります(場合によっては「浅間団」「白根団」など他の山名が加わることも)。ハチマキの色もおおよそ統一されています。

《ハチマキの色の主な例》  
赤城団→赤 榛名団→青or緑 妙義団→黄色 浅間団→白or青 白根団→白

